

# 事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 2060090 \_ 001

## 【1.基本情報】

事業名	図書館利用推進事業					
担当部名	市民協働推進部		担当課名	図書館		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	昭和	33	年度～	年度	根拠法令・関連計画	
				図書館法		

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	市民が心豊かで文化的な生活を送るため、読書推進を図るとともに学習を支援する					
内容 (手段・手法など)	図書館資料の閲覧や貸出事業、レファレンス事業及び住民の学習支援のための蔵書の充実、読書推進のための各種行事の開催					
事業の 対象	何を	図書館資料や情報				
	誰に	岐阜市民及び市内在勤、在学者				
	どのくらい	図書館資料の充実				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	169,000	5,200	176,358	5,460	173,628	5,460
パートタイム会計年度任用職員A	164,697	15,990	164,697	15,990	161,499	15,990
パートタイム会計年度任用職員B	18,610	3,877	21,182	4,413	20,475	4,095
計(A)	352,307	25,067	362,237	25,863	355,602	25,545

### (2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		186,746	177,759	170,982
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	図書購入費	74,456	76,908	70,372
	雑誌等購入費	12,485	12,720	12,633
	施設管理	82,163	71,415	71,252
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		186,746	177,759	170,982

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	539,053	539,996	526,584

## 【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金	0	0	465
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	8,227	6,518	3,191
計(F)	8,227	6,518	3,656

## 【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	530,826	533,478	522,928

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	利用者	利用者	利用者
受益者数	572,565	668,512	843,975
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	927	798	620

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)）

活動指標名	蔵書数		単位	冊
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	860,000	880,000	900,000	
実績値	850,662	876,225	890,552	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	貸出数		単位	千冊
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	2,500	2,500	2,500	
実績値	17,776	1,976	2,404	
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	図書館は学習や情報基盤の拠点として、広く市民等に利用される施設である。 市民等の身近な生涯学習施設として不可欠である。 類似の事業はない。
<b>効率性</b> ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	学校連携事業や、近隣市町村との相互協力を実施し、図書館の利用を推進する。 地域ボランティアや協議会等と協働して、各種事業を実施する。また、委託により効率的に事業実施が可能なものは積極的に委託し、円滑に図書館を運営する。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	新型コロナウイルス感染症の影響により減少していた利用者数、貸出数はもどりつつある。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	あらゆる世代の利用者に満足していただけるような図書資料の選書と収集に努めている。
<b>〔総合評価〕</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	拡充	地域住民の生涯学習を推進する拠点として、広く住民等に利用される施設を目指し、多様なニーズに応えられる手厚いサービスを提供する。

# 事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号	2060090	__ 002
----	---------	--------

## 【1.基本情報】

事業名	読書サークル協議会補助金					
担当部名	市民協働推進部		担当課名	図書館		
実施方法	補助等	補助等の種類	その他補助金	実施主体	岐阜市読書サークル協議会	
開始・終了年度	昭和	49	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	協議会の主催する講座を継続させることで市域における住民の読書活動及び生涯学習の推進を図る。					
内容 (手段・手法など)	読書活動、生涯学習の機会を創出する文学講座の実施に対し補助を行う。					
事業の 対象	何を	協議会の実施する文学講座に対する支援				
	誰に	岐阜市読書サークル協議会				
	どのくらい	協議会が実施する講座に必要な経費の一部				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	455	14	452	14	445	14
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	455	14	452	14	445	14

### (2)物にかかるコスト

		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
直接経費 【直接事業費】 (B)		103	103	103
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	事業補助金	103	103	103
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		0	0	0
計(D)=B+C		103	103	103

### (3)総コスト

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	558	555	548

## 【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳	令和2年度決算額(千円)		
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
市負担額一般 財源(E-F)	558	555	548

## 【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	講座受講者	講座受講者	講座受講者
受益者数	157	184	182
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	3,554	3,017	3,012

## 【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)

活動指標名	講座実施回数		単位	回
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	36	36	36	
実績値	18	32	36	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	講座参加者数(延べ)		単位	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	2,580	2,580	2,580	
実績値	699	1,305	1,716	
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)	

## 【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	生涯学習の機会を提供し、読書普及活動となる文学講座の開催に対して支援を行うことは、図書館の役割である。 市民の読書活動の普及や生涯学習の推進は公立図書館が実施すべき施策である。 類似の事業はない。
<b>効率性</b> ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	図書館と連携した事業として実施しており、広く受益者の利益となっている。 読書サークル協議会と協働することにより、効率的な事業の運営が行われている。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	市内全域を対象として受講者を募っており、広域的な読書活動の普及が行われている。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	生涯学習の手段を提供し、市内から広く受講者を募って講座を開催している。
<b>〔総合評価〕</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	拡充	市民の読書活動を支援し、生涯学習の機会の提供を続けるために文学講座の普及を図っていく。

# 事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 2060090 \_ 003

## 【1.基本情報】

事業名	コミセン巡回図書館					
担当部名	市民協働推進部		担当課名	図書館		
実施方法	その他	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成	27	年度～	年度	根拠法令・関連計画	
					—	

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	地域における図書館サービスの拡大・充実を図るため、コミュニティーセンターにおける図書館サービスを実施する。					
内容 (手段・手法など)	図書室のないコミュニティーセンター(5箇所)への巡回による本の貸出、返却及び予約図書の受け渡し。巡回時に予約本を受け取れなかった利用者への窓口業務等をコミュニティーセンターの指定管理者への委託。					
事業の 対象	何を	市立図書館資料				
	誰に	市民				
	どのくらい	図書資料の充実と利用者数の増加				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員A	4,841	470	4,985	484	4,545	450
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	4,841	470	4,985	484	4,545	450

### (2)物にかかるコスト

		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
直接経費【直接事業費】(B)		1,822	1,822	1,822
直接事業費の主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	委託料	1,822	1,822	1,822
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費【施設管理】(C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		1,822	1,822	1,822

### (3)総コスト

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	6,663	6,807	6,367

## 【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳	令和2年度決算額(千円)		
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
市負担額一般財源(E-F)	6,663	6,807	6,367

**【6.コストバランス】**

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	利用者	利用者	利用者
受益者数	5,178	5,641	7,490
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	1,287	1,207	850

**【7.指標】**

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	巡回実施数		単位	回
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	235	242	228	
実績値	198	186	225	

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	貸出数		単位	冊
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	9,500	9,500	9,500	
実績値	10,208	10,277	13,621	
達成状況	○(達成)	○(達成)	○(達成)	

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	図書館の利用が困難な市民に等しく図書館サービスを提供する当該事業は市が実施すべきである。 図書館の利用が困難な高齢者や障がい者、交通弱者などに等しく図書館サービスを提供することは必要である。 類似事業はない。
<b>効率性</b> ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	図書館から遠い地域での図書の貸出サービスの向上のためには、地域に密着しているコミュニティーセンターとの連携が必要であり、また、巡回時間以外におけるコミュニティーセンターでの予約本の受取りにより、市民へのサービスが向上しており、効果があると思われる。 コミュニティーセンターは指定管理者で、連携して市民サービスを実施できる状況であり、サービス内容・時間・費用等を勘案しても効率的で妥当である。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	利用者の更なる増加と資料充実を図る
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	図書館の利用が困難な高齢者や障がい者、交通弱者などに等しく図書館サービスを提供することは必要である。
<b>〔総合評価〕</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	図書館機能の一部として、予約本の受取やブックポストの利用が市民に定着してきており、今後も継続していく。

# 事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 2060090 \_ 004

## 【1.基本情報】

事業名	乳幼児読み聞かせ事業					
担当部名	市民協働推進部		担当課名	図書館		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成	15	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	子どもの健やかな成長を願って、乳幼児から絵本を介して日常的に親子のふれあいを深めてもらおうという、子どもの読書活動、子どもの健全育成、地域による子育て支援を積極的に推進し、心豊かな社会を実現する。					
内容 (手段・手法など)	南・中・北の3保健センターの10ヵ月健康診査時に、受診する親子に対して、図書館と市民ボランティアとの連携により、読み聞かせの大切さをPRし、図書館の本を貸し出す。全国に広まるブックスタート事業と同様の趣旨のもとに展開している。					
事業の 対象	何を	赤ちゃん絵本と離乳食などの育児支援に関する本の貸出・乳幼児期の読み聞かせの大切さの啓発				
	誰に	乳幼児とその親				
	どのくらい	岐阜市内の10ヵ月児全員				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため希望者を募り、図書館内で月1回、親子4組限定(2回実施)で実施した。通常であれば、各保健センターで10ヵ月健康診査を受診する親子に対して、一か月に2回ずつ行い、ボランティアと連携して行う。					

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0	0	162	5	350	11
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	52	5	111	11
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	24	5	55	11
計(A)	0	0	237	15	516	33

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		735	697	745
直接事業費の主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	絵本購入	645	637	635
	ボランティア経費	50	0	0
	消耗品	40	60	110
減価償却費【施設管理】(C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		735	697	745

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	735	934	1,261

## 【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	735	934	1,261

**【6.コストバランス】**

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	乳幼児とその親	乳幼児とその親	乳幼児とその親
受益者数	-	51	121
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	18,314	10,421

**【7.指標】**

**アウトプット評価** (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	乳幼児読み聞かせ(絵本といっしょ)事業による新規利用登録者		単位	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	300		22	24
実績値	0		14	43

**アウトカム評価** (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	10ヶ月検診受信者数(図書館内で事業を実施の場合、参加者数)		単位	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	2,777		176	192
実績値	-		51	121
達成状況	—	×(未達成)	×(未達成)	

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	親子のふれあいや子どもの読書活動の推進は、行政として積極的に取り組んでいく施策である。 親子のふれあいと図書館利用の機会づくりであり、地域の密着した市の図書館が実施するのが妥当である。 保健センターで実施することにより、本に興味がない方も含めて読書活動を啓発することができ、類似の事業は他にはない。
<b>効率性</b> ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	保健センターと図書館とが連携して、子育て支援や子ども読書活動の推進のための施策として実施することにより、子どもの健全育成と心豊かな社会の実現につながる。 意欲あるボランティアの参画、協力を得て事業を実施する手法は妥当である。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	乳幼児の頃から、親子がふれあう機会として、絵本の読み聞かせを推進してきた。親子が時間を共有し、コミュニケーションができる手段として有効であり、乳幼児を持つ保護者が興味を持ってきている。図書館へのおはなし会の参加にも効果がある。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	10ヵ月健診は乳幼児のほとんどが受診していると思われるため、保健センターの協力を得て、PRできている。
<b>〔総合評価〕</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	絵本を通して親子のコミュニケーションに活用できることを伝え、図書館を活用して絵本を借りたりおはなし会に参加する意識を広めていく。

# 事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 2060090 \_ 005

## 【1.基本情報】

事業名	ビジネス支援事業					
担当部名	市民協働推進部		担当課名	図書館		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成 27 年度 ~		年度	根拠法令・関連計画	中心市街地活性化基本計画	

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	図書館の情報提供機能を生かしてビジネスに関する情報を収集・提供することで図書館の利用を促進するとともに、他部署・他機関との連携を通して地域の商工業の活性化を図る。					
内容 (手段・手法など)	ビジネスチャレンジ支援相談窓口の設置、ビジネス支援セミナーの実施、ビジネス関連情報の提供					
事業の 対象	何を	図書などの資料によるビジネスに有益な情報提供と支援機関への橋渡し				
	誰に	岐阜市民及び図書館利用者				
	どのくらい	週2回の相談窓口、年2回のセミナー、通年でビジネス情報展示				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	資金相談会の再開					

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	130	4	129	4	254	8
パートタイム会計年度任用職員A	1,030	100	1,133	110	1,111	110
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	1,160	104	1,262	114	1,365	118

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		134	56	154
直接事業費の主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	報償費	60	5	70
	消耗品	74	42	58
	会場使用料	0	9	18
減価償却費【施設管理】(C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		134	56	154

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	1,294	1,318	1,519

## 【4.収入】

収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	1,294	1,318	1,519

**【6.コストバランス】**

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	市民	市民	市民
受益者数	198	323	322
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	6,535	4,081	4,719

**【7.指標】**

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)

活動指標名	ビジネス支援セミナー及び相談会の回数			単位	回
	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
目標値	102		97		101
実績値	68		80		97

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	貸出冊数		単位	冊
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	2,290,000	2,290,000	2,290,000	
実績値	1,775,853	1,975,625	2,403,327	
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	○(達成)	

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	図書館の情報提供機能を生かしてビジネスに関する情報を収集・提供 することで市民の相談ニーズに応えている  地域の実情に合わせて実施するため市が担う必要がある  図書館の資料を活かしたビジネス相談事業であり、類似の事業はない
<b>効率性</b> ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	国・県・市の専門家と連携することで適正な費用で無料の相談窓口や セミナーを開催している  相談窓口での内容を活かしたセミナーを実施し、国・県・民間と連携し た講師を起用しており妥当である
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	図書館で行うビジネス相談として定着しており、相談だけでなく情報や 資料を紹介することで図書館資料の貸出につながっている
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	図書館での相談窓口やセミナーは無料であり、希望者の需要に応える ことができている
<b>〔総合評価〕</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いて いるため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充 又は改善することが困難であり、現状のまま 事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や 縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、 事業を取りやめる	現状維持	図書館の資料を活用したビジネス相談窓口とその相談内容を反映した セミナー等を実施することで、図書館の利用促進と地域の商工業の活 性化を図る

# 事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 2060090 \_ 006

## 【1.基本情報】

事業名	文学と歴史・物語のまち「岐阜」(旧:文学のまち「岐阜」)					
担当部名	市民協働推進部		担当課名	図書館		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成	18	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	図書館における所蔵資料の活用や各種関係団体との協力関係を構築し、郷土関連文学の掘り起こしを行い、幅広い年齢層に対して情報発信を進め、岐阜ゆかりの文学を伝承する。また、文学に縁のない世代が文学に親しみ未来へと続く文学のまちとなる土壌を作るための活動を行う。					
内容 (手段・手法など)	岐阜関連文学に関する講演会や文学講座、自分史講座等の開催と関連する資料の展示。小学校や団体への読み聞かせボランティアの派遣や文学に親しむ機会となるイベント等を実施。					
事業の 対象	何を	岐阜の文学に関する展示や講演会等の開催				
	誰に	市民				
	どのくらい	講演会を年に2、3回開催する。				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	325	10	323	10	318	10
パートタイム会計年度任用職員A	515	50	515	50	505	50
パートタイム会計年度任用職員B	240	50	240	50	250	50
計(A)	1,080	110	1,078	110	1,073	110

### (2)物にかかるコスト

		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
直接経費【直接事業費】(B)		55	170	529
直接事業費の主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	報償費	15	40	322
	消耗品費	40	110	132
		0	0	0
減価償却費【施設管理】(C)		0	0	0
計(D)=B+C		55	170	529

### (3)総コスト

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	1,135	1,248	1,602

## 【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
市負担額一般財源(E-F)	1,135	1,248	1,602

**【6.コストバランス】**

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	参加者	参加者	参加者
受益者数	672	689	304
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	1,689	1,811	5,270

**【7.指標】**

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	イベント実施回数		単位	回
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	1	1	1	1
実績値	1	1	1	1

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	参加者数		単位	回
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	900	900	500	500
実績値	672	689	304	304
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)	

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	市民の読書活動の普及は市民が気軽に利用できる市の図書館が実施すべき施策である。 岐阜の文学や郷土の作家という市民の財産を図書館は保存、提供、活用していく役割を担っている。 類似の事業はない。
<b>効率性</b> ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	広く市民に向けて読書活動の普及に効果がある。 市民に親しみやすいイベントという形で情報提供し、協働で行うことはできる。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	幅広い年齢層への読書推進を図ることができる。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	広く市民が参加しており妥当である。
<b>〔総合評価〕</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	拡充	市民の読書活動の普及や生涯学習の推進のための施策として継続して実施していくことが妥当である。

# 事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 2060090 \_ 007

## 【1.基本情報】

事業名	みんなの図書館おとなの夜学					
担当部名	市民協働推進部		担当課名	図書館		
実施方法	委託(NPO)	補助等の種類		実施主体	NPO法人ORGAN	
開始・終了年度	平成	27	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	岐阜ならではの慣習、生活の知恵、歴史的な経緯、地域文化など岐阜の奥深さを図書館から発信するため、市民協働を視野に入れて、市民目線でわかりやすく伝えるための多角的・多分野な講座や展示を開催する。また、岐阜市立図書館から全国に向けて、岐阜の魅力をアピールする試みとして、WEB動画を用いて講座の様子を情報発信し、過去の講座をブックレットにする。					
内容 (手段・手法など)	岐阜の地域文化に通じた様々な分野の専門家、その道の第一人者による対談やパネルディスカッションを実施する。					
事業の 対象	何を	岐阜ならではの慣習、生活の知恵、歴史的な経緯、地域文化など岐阜の奥深さを伝えるための多角的・多分野な講座や展示の開催及びWEB動画を用いて講座の様子を情報発信、およびブックレットの制作				
	誰に	一般成人・WEB動画視聴者				
	どのくらい	一般成人・WEB動画視聴者				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	98	3	97	3	95	3
パートタイム会計年度任用職員A	31	3	31	3	30	3
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	128	6	128	6	126	6

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		2,248	2,115	2,369
直接事業費の主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	委託料	1,980	1,847	2,090
	印刷製本費	268	268	279
		0	0	0
減価償却費【施設管理】(C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		2,248	2,115	2,369

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	2,376	2,243	2,495

## 【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	19	47	52
計(F)	19	47	52

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	2,357	2,196	2,443

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	受講者	受講者	受講者
受益者数	195	101	112
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	12,089	21,741	21,810

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)

活動指標名	開催数		単位	回
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	8		6	6
実績値	6		5	6

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	受講者数		単位	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	400		400	400
実績値	195		101	112
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	市民のシビックプライドの醸成のための役割を担っておりニーズに合っている。 岐阜市ならではの生活・文化等を学ぶ場であり、国・県が主体になるものではなく、まちづくりに詳しいNPOに業務を委託している。 類似の事業はない。
<b>効率性</b> ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	図書館の人気講座となっており、費用対効果は高い。 NPOとの協働事業として実施している。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	毎回、人員を確保できており、市民にとって魅力ある事業と位置付けられる。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	受益者は一般成人およびWEB動画視聴者であり適正である。
<b>〔総合評価〕</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	多くの参加者が集まる人気講座として定着しており、市民のシビックプライド醸成に資する役割として今後も継続していくことが妥当である。

# 事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 2060090 \_ 008

## 【1.基本情報】

事業名	子ども司書育成					
担当部名	市民協働推進部		担当課名	図書館		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成	27	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	子ども同士の関係性の中で読書文化の普及を進めるため、子ども司書としてそれぞれの学校のなかで読書推進の原動力となる子どもを育成するとともに、子どものソーシャルスキルの向上や独創性開発を図る。					
内容 (手段・手法など)	専門家を講師として招き全16回程度の子どもの司書育成講座を行う。					
事業の 対象	何を	子どもの司書養成講座の開催及び認定				
	誰に	小学校高学年から中学生				
	どのくらい	小学校高学年から中学生(20名程度)				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	コロナ対策で縮小していた部分を、コロナ前に戻した。定員:10名→20名、日程:2日間→4日間、対象:小学校4年～6年→小学校4年～中学校3年					

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	65	2	65	2	64	2
パートタイム会計年度任用職員A	41	4	41	4	61	6
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	106	6	106	6	124	8

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		41	45	90
直接事業費の主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	報償費	41	40	65
	消耗品費	0	5	25
		0	0	0
減価償却費【施設管理】(C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		41	45	90

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	147	151	214

## 【4.収入】

収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	147	151	214

**【6.コストバランス】**

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	小中学生	小中学生	小中学生
受益者数	10	10	20
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	14,720	15,080	10,710

**【7.指標】**

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	子ども司書の派遣回数		単位	回
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	1		1	1
実績値	0		0	0

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	受講応募数		単位	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	80		80	80
実績値	62		53	64
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)	

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	子どもの読書啓発のためには、友人同士の読書の広がりがある効果的である。 学校現場での読書推進リーダーの育成を目的としており、市立小中学校を管轄する岐阜市(市立図書館)が事業を行う必要がある。 類似の事業はない。
<b>効率性</b> ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	1年間に育成する司書は20人とそれほど多くはないが、その後図書館や学校での活動などにつながり効果が高い。 必要十分な講座を行っており他に効率的な方法はない。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	子ども同士の関係性の中で読書文化の普及を進めるため、子ども司書としてそれぞれの学校のなかで読書推進の原動力となる子どもを育成するとともに、子どものソーシャルスキルの向上や独創性開発を図っている。 人気の高い講座であり、例年抽選となっている。修了した子どもたちがすでに活躍しており、魅力ある事業である。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	受益者は小中学生であり、負担額もゼロであるため適正である。
<b>〔総合評価〕</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	子どもの読書推進に資するほか、子どもの社会性を育む事業として、今後も継続していくことが妥当である。

# 事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号	2060090	009
----	---------	-----

## 【1.基本情報】

事業名	子どもラジオ放送					
担当部名	市民協働推進部		担当課名	図書館		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成	28	年度～	年度	根拠法令・関連計画	
				—		

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	平成27年度より養成している子ども司書に情報発信の場を与え、情報発信の手法やその面白さをラジオ放送のための企画会議や自らが実際の放送を行うことにより、子どもたちに楽しみながら学んでもらい、自発的な意思を育成していく。このような情報発信力を醸成することで子ども司書の活躍の場を学校図書館にも広げていくことを目指す。					
内容 (手段・手法など)	子ども司書が企画会議を経て、番組を作成。自らがパーソナリティとなり、ラジオ収録を行い館内やFMわっちで放送を行う。なお、本事業はぎふメディアコスモスで事業展開している「てにておラジオ」と連携している。					
事業の 対象	何を	子ども司書によるラジオ放送を活用した情報発信				
	誰に	子ども司書(小学生高学年から中学生)				
	どのくらい	小学生高学年から中学生(40人程度)				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	325	10	388	12	382	12
パートタイム会計年度任用職員A	206	20	247	24	242	24
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	531	30	635	36	624	36

### (2)物にかかるコスト

		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
直接経費【直接事業費】(B)		95	125	125
直接事業費の主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	委託料	95	125	125
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費【施設管理】(C)		0	0	0
計(D)=B+C		95	125	125

### (3)総コスト

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	626	760	749

## 【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
市負担額一般財源(E-F)	626	760	749

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	小中学生	小中学生	小中学生
受益者数	20	20	20
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	31,300	37,990	37,450

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	ラジオ放送収録回数		単位	回
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	12		12	12
実績値	9		12	12

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	子ども司書養成講座の応募者数		単位	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	80		80	80
実績値	62		53	64
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	子ども司書講座を修了した子どもたちの活動の場であり、国、県が主体になるものではない。 学校現場での読書推進リーダーの育成を目的としているため、市立小中学校を管轄する岐阜市(市立図書館)が事業を行う必要がある。 類似の事業はない。
<b>効率性</b> ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	子ども司書講座修了の子どもたちが活動する場であるため、効率的な事業である。 当該事業は子どもたちと市民団体との協働を基本趣旨としている。メディアコスモスにて公開放送を行う市民ラジオ「てにておラジオ」への業務委託を行っている。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	子ども司書に情報発信の場を与え、情報発信の手法やその面白さをラジオ放送のための企画会議や自らが実際の放送を行うことにより、子どもたちに楽しみながら自発的な学びあいを通して、表現力・創造力を育成していく。このような情報発信力を醸成することで子ども司書の活躍の場を学校図書館にも広がることを期待している。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	子ども司書は、公募にて募集しており、受益者として適正である。
<b>〔総合評価〕</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	子どもの情報発信力を高め、活躍の場を与える事業として、今後も継続していくことが妥当である。

# 事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 2060090 \_ 010

## 【1.基本情報】

事業名	作家と語ろうin岐阜(旧著者に会いたい)事業					
担当部名	市民協働推進部		担当課名		図書館	
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成	28	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	市民に作家の作品の魅力を伝え、作品への興味を持ち読書に親しむことの大切さを啓発する。					
内容 (手段・手法など)	普段、作品を通じてしか接することのできない作家を招いて語ってもらうことにより、作家の作品のみならず作家自身の魅力に触れる機会を作る。作家を知り、作品の理解を深め、興味を持つきっかけとなるようなイベントを行う。					
事業の 対象	何を	作家の講演会				
	誰に	市民				
	どのくらい	年に1回				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	163	5	162	5	159	5
パートタイム会計年度任用職員A	103	10	103	10	101	10
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	266	15	265	15	260	15

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		201	224	224
直接事業費の主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	報償費	200	200	200
	旅費	1	23	23
	食糧費	0	1	1
減価償却費【施設管理】(C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		201	224	224

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	467	489	484

## 【4.収入】

収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	467	489	484

**【6.コストバランス】**

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	参加者	参加者	参加者
受益者数	73	160	255
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	6,390	3,053	1,898

**【7.指標】**

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	開催回数		単位	回
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	2		1	1
実績値	1		1	1

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	参加者数		単位	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	100		500	500
実績値	73		160	255
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)	

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	市民の読書活動の普及や生涯学習の推進は公共図書館が実施すべき施策である。 市民が気軽に利用できる市の図書館が実施すべき施策である。 類似の事業はない。
<b>効率性</b> ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	作家の話を通じて読書活動に興味を持ってもらい、読書活動の普及や生涯学習の推進に効果がある。 市民の参加が可能な場面であれば協働で行うことは可能。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	市民の事業への参加が読書活動につながり、読書の普及に期待できる。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	多くの市民が参加しており妥当である。
<b>〔総合評価〕</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	拡充	市民の読書活動の普及や生涯学習の推進のための施策として継続して実施していくことが妥当である。

# 事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 2060090 \_ 011

## 【1.基本情報】

事業名	図書館発！まちづくり事業					
担当部名	市民協働推進部		担当課名	図書館		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成	29	年度～	年度	根拠法令・関連計画	中心市街地活性化基本計画

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	本棚のあるまちづくりを推進するため、市民を対象とした講座を行ったり、市民文庫を中心市街地に設置するなどし、本を媒介に人と人がつながる場をつくることを目的とする。					
内容 (手段・手法など)	図書館が商店街の中に本棚を置いて定期的に特集展示を行ったり、お店などに本棚を置きたいと考えている店主を対象に本のある空間づくりをテーマとした講座を行い、本を通じて人と出会い、本を交換しながら人を繋いでいく活動を市民に推進していく。					
事業の 対象	何を	専門家を講師として				
	誰に	一般市民				
	どのくらい	ライブラリアン養成講座 年1回 特集展示年6回				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	まちライブラリアン養成講座を柳ヶ瀬Rテラスで開催した。メディアコスモスのイベント「秋のゆったりカルチャーマルシェ」において、まちライブラリー@メディアコスモスを設置し、訪れた人にまちライブラリーの活動を知ってもらう機会を提供した。					

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	98	3	97	3	95	3
パートタイム会計年度任用職員A	31	3	31	3	30	3
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	128	6	128	6	126	6

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		236	66	84
直接事業費の主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	報償費	0	0	84
	消耗品・備品	236	66	0
		0	0	0
減価償却費【施設管理】(C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		236	66	84

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	364	194	210

## 【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	364	194	210

**【6.コストバランス】**

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	一般市民	一般市民	一般市民
受益者数	0	0	21
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	9,986

**【7.指標】**

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)

活動指標名	講座開催		単位	回
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	1		1	1
実績値	0		0	1

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	講座参加者		単位	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	50		50	50
実績値	-		-	21
達成状況	—	—	×(未達成)	

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	本を媒介とした市民のコミュニケーションを目的としており、ニーズに合っていると考えられる。 地域に密着した図書館として、市が担う必要があると考えられる。 類似の事業はない。
<b>効率性</b> ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	多くの市民が本と出会う場の創出につながるものとして費用対効果は適正である。 本を専門とする市立図書館が主体となって行うべき事業であり他に効率的な方法はない。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	人員を確保できており、アンケートに答えた参加者の多くが「満足」としている。市民にとって魅力ある事業である。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	受益者は一般市民であるため適正である。
<b>〔総合評価〕</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	地域に密着した図書館として存在感を高め、地域の活性化に資する事業として、今後も継続していくことが妥当である。

# 事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 2060090 \_ 012

## 【1.基本情報】

事業名	本de子育てカフェ					
担当部名	市民協働推進部		担当課名	図書館		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成	29	年度～	年度	根拠法令・関連計画	
					—	

## 【2.事業概要】

目的 (何のためか)	図書館では、子育て世代の利用が増えており、子どもを育てる場として市民に受け入れられつつある。そうした中、手探りで育児に奮闘する親に、各家庭における子育てのヒントとなる情報発信を行う。					
内容 (手段・手法など)	児童、中高生などの子どもがいる親を対象に、子育て等の専門家による「本と子育て」をテーマとした講座を行う。					
事業の 対象	何を	専門家による講演会等				
	誰に	市民一般				
	どのくらい	年に2回				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0	0	32	1	32	1
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	31	3	30	3
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	0	0	63	4	62	4

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
直接事業費の主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	報償費	200	100	200
	食糧費	1	1	1
		0	0	0
減価償却費【施設管理】(C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		0	0	0

### (3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	0	63	62

## 【4.収入】

収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	0	63	62

**【6.コストバランス】**

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	一般市民	一般市民	一般市民
受益者数	58	45	76
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	1,404	817

**【7.指標】**

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)

活動指標名	開催回数		単位	回
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	3		2	2
実績値	2		1	2

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	アンケート結果のうち、「参考になった」と回答された割合		単位	%
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	70		70	70
実績値	63		93	86
達成状況	×(未達成)	○(達成)	○(達成)	

**【8.評価】**

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
<b>必要性</b> ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	市民の読書活動の普及や生涯学習の推進は公立図書館が実施すべき施策である。 市民が気軽に利用できる市の図書館が実施すべき施策である 本を介しての子育て支援として、類似事業はない。
<b>効率性</b> ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	専門家に講師を依頼しているため内容が充実しており、また、受講者のアンケート結果では、「参考になった」と回答された割合が6～8割であり、費用対効果は高いと考える。 内容としては、専門家に講師を依頼して事業を実施する現在の方法が妥当である。
<b>有効性</b> ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	それぞれの世代の子育て層を対象とした講演を実施し、子育ての参考となるような支援をした。
<b>公平性</b> ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	それぞれの世代の子育て層を対象とした講演を実施しており、広く市民が参加している。
<b>〔総合評価〕</b> ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	本を介しての子育て支援として、今後も継続していく。